

2025年1月17日

各 位

会 社 名 株式会社ネクスグループ  
 代 表 者 名 代表取締役社長 石原 直樹  
 (スタンダード市場・コード6634)  
 問 合 せ 先  
 役 職 ・ 氏 名 取締役管理本部長 齊藤 洋介  
 電 話 03-5766-9870

## 特別損失の計上及び2024年11月期通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2024年11月期連結決算において、特別損失として減損損失を計上いたしました。  
 また、2024年1月18日に開示しました2024年11月期（2023年12月1日～2024年11月30日）の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の内容

当社が保有する固定資産（GameFiソフトウェア）について、減損処理を実施し、2024年11月期第4四半期会計期間において、減損損失36百万円を特別損失として計上いたしました。

#### 2. 2024年11月期連結業績予想値と実績値との差異

(単位：百万円未満切り捨て)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	1,517	159	169	153	5.64
今回実績 (B)	2,130	△246	△230	△289	△9.07
増減額 (B-A)	612	△406	△399	△443	
増減率 (%)	40.34	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2023年11月期)	802	△211	△150	△657	△24.20

#### 3. 差異の理由

売上高につきましては、当社の暗号資産投資事業において、暗号資産取引における対象暗号資産の相場低迷や大幅下落及び当初予定していた大型取引が見送りになるなどの理由から、当初見込んでいた売上高から252百万円下回っております。

しかし、2024年11月期において、新たに連結子会社となった株式会社ケーエスピーと株式会社スケブが、売上高の増加に貢献し、結果として売上高は当初予算を大きく上回る結果となりました。(2社合わせて約1,000百万円)。

営業利益につきましては、2024年11月期第2四半期会計期間より、活発な市場が存在しない暗号資産の評価損を「売上原価」に含めて表示する方法に変更することで、売上原価が当初予定より増加いたしました(103百万円)。

また、ケーエスピーとスケブを加えたことを主たる要因にして、売上原価及び販管費が832百万

円、のれんの償却費が 55 百万円、当初予定より増加いたしました。

経常利益につきましては、ケーエスピーとスケブを加えたことにより、営業外収益が 4 百万円増加しております。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記 1 による 36 百万円の減損損失を計上したことと、法人税が 18 百万円、当初予定より増加したことによるものです。

以上により、2024年1月18日に開示しました連結業績予想と実績に差異が生じ、上記の結果、売上高2,130百万円、営業損失246百万円、経常損失230百万円、親会社株主に帰属する当期純損失289百万円となりました。

以上